

写

福監発第 3562 号

昭和49年2月21日

福生市議会議長

石 川 信 義 殿

福生市監査委員

山 下 久 吉 ⑩

塩 野 鉄之助 ⑩

昭和49年1月分例月出納検査実

施結果報告

このことについて、地方自治法第235条の2第3項の規定によ
り、つぎのとおり報告します。

- 1 実施期日 昭和49年2月20日
- 2 実施場所 第2庁舎2階会議室
- 3 対象期間 昭和49年1月4日から昭和49年1月末日まで
- 4 出席委員 山 下 久 吉 塩 野 鉄之助
- 5 検査対象 1月中における収入役、企業出納員の権限に属す
る現金の出納状況ならびに関連事項。

6 検査結果

1 月中における現金の出納状況について関係帳簿および証憑書類の検査を実施した結果1月末日における収支の状況は別表のとおりで計数上の誤りは認められなかった。

昭和49年1月分歳入歳出調（昭和48年度）

区分 会計別	12月末有高	歳入	歳出	1月末有高
一般会計	(150,000,000) 147,235,866	110,845,926	236,196,528	(150,000,000) 21,885,264
国保会計	26,043,767	25,539,322	22,468,078	29,115,011
質屋会計	606,247	203,589	578,146	231,690
区面整理会計	58,387,075	0	1,961,815	56,425,260
公共用地会計	1,880,567	0	12,870	1,867,697
用品調達基金	1,390,573	535,985	1,611,627	314,931
公益質屋基金	807,000	1,873,000	2,046,500	633,500
土地開発基金	121,387,232	0	0	121,387,232
庁舎増築基金	23,000,000	0	0	23,000,000
小計	(150,000,000) 380,738,327	138,997,822	264,875,564	(150,000,000) 254,860,585
水道事業会計	85,724,279	12,771,117	20,587,081	77,908,315
合計	(150,000,000) 466,462,606	151,768,939	285,462,645	(150,000,000) 332,768,900

() 内は一時借入金で下記金額に含まれない。



福監発第 3294 号

昭和49年1月31日

福生市議会議長 石 川 信 義 殿

福生市監査委員 山 下 久 吉 ㊞
塩 野 鉄之助 ㊞

昭和48年12月分例月出納検査実施
結果報告

このことについて、地方自治法第235条の2第3項の規定によ
り、つぎのとおり報告します。

- | | | |
|---|------|---|
| 1 | 実施期日 | 昭和49年1月30日 |
| 2 | 実施場所 | 第2庁舎2階会議室 |
| 3 | 対象期間 | 昭和48年12月1日から昭和48年12月末日まで |
| 4 | 出席委員 | 山 下 久 吉 . 塩 野 鉄之助 |
| 5 | 検査対象 | 12月中における収入役、企業出納員の権限に属
する現金の出納状況ならびに関連事項 |
| 6 | 検査結果 | 12月中における現金の出納状況について関係帳
簿および証拠書類の検査を実施した結果12月末
日における収支の状況は、別表のとおりで計数上
の誤りは認められなかった。 |

昭和48年12月分歳入歳出調 (昭和48年度)

会 計 別 区 分	11月末有高	歳 入	歳 出	12月末有高
一 般 会 計	193,041,154	(150,000,000) 396,550,091	442,355,379	(150,000,000) 147,235,866
国 保 会 計	32,125,865	17,109,051	23,191,149	26,043,767
質 屋 会 計	960,982	244,035	598,770	606,247
区画整理会計	589,006,67	128,773,80	133,909,72	583,87,075
公共用地会計	1,880,567	0	0	1,880,567
用品調達基金	453,195	1,013,246	758,68	1,390,573
公益質屋基金	95,500	2,270,000	1,558,500	807,000
土地開発基金	121,387,232	0	0	121,387,232
庁舎増築基金	23,000,000	0	0	23,000,000
小 計	431,845,162	(150,000,000) 430,063,803	481,170,638	(150,000,000) 380,738,327
水道事業会計	1,084,237,57	14,091,495	36,790,973	85,724,279
合 計	5,402,689,19	(150,000,000) 444,155,298	517,961,611	(150,000,000) 466,462,606

() 内は一時借入金で下記金額に含まれない。

第一回福生市議会

定

例

会会議録(第三号)

昭和四十九年三月十三日福生市議会議場に第一回福生市議会定例会が開催された。
一 出席議員はつぎのとおりである。

一番	貫井喜代次	君	二番	小林菊三	君
三番	小林才治	君	四番	田村市郎	君
五番	川窪清一	君	六番	中曾根実	君
七番	宇佐美良時	君	八番		君
九番		君	十番	松山清	君
十一番	伊東忠次郎	君	十二番	森田秀雄	君
十三番	石川繁治	君	十四番	小林暢吉	君
十五番	末次性男	君	十六番	高波忠	君
十七番	関米吉	君	十八番	中里元一	君

議十九
議二十
議十一
議十二
議十三
議十四
議十五
議十六
議十七
議十八

第一定
(第二日)

十九番	大野行夫	君	二十番	宮沢良一	君
二十一番	田村匡雄	君	二十二番	塩野鉄之助	君
二十三番	岩田博	君	二十四番	石川信義	君

一 欠席議員はつぎのとおりである。

八番 吉岡一三君

一 欠員はつぎのとおりである。

九番

一 議会事務局職員はつぎのとおりである。

九字挿入 議事	古谷徳男	君	臨時速記事務補佐員
九字削除 務局長	市川昭利	君	主事 長岡裕子
	係長		大竹礼子
			君

一 地方自治法第二百一十一条の規定による出席説明員はつぎのとおりである。

市長	石川常太郎	君	助役	篠崎俊夫	君
収入役	橋本孝蔵	君	教育長	町田倍二	君
秘書職	高水求	君	庶務	生子国利	君
員課長			環境保	八木房雄	君
企画財	上野重勝	君	全課長		
政課長			福祉事	森田猛	君
課長	森田進	君	務所長		
建設	黒田登	君	都市計	浅見裕康	君
課長			画課長		

- 日程第十一 議案第三十一号 昭和四十九年度福生市公共用地会計予算
- 日程第十二 議案第三十二号 昭和四十九年度福生市水道事業会計予算
- 日程第十三 議案第三十三号 昭和四十九年度福生市下水道事業会計予算
- 日程第十四 議案第三十四号 市道路線の認定について
- 日程第十五 議案第三十五号 市道路線の廃止について
- 日程第十六 議案第三十六号 市道路線の廃止について
- 日程第十七 議案第三十七号 財産の取得について
- 日程第十八 請願第一号 市道舗装に関する請願書
- 日程第十九 請願第二号 地下道新設に関する請願書
- 日程第二十 陳情第一号 テレビ受像被害に関する陳情書
- 日程第二十一 陳情第二号 浄化槽清掃料金改定に関する陳情書

午前十時

開議

○議長(石川信義君) ただいまから昭和四十九年第一回福生市議会定例会第二日目の会議を開きます。

○議長(石川信義君) これより日程に入ります。

日程第一 議案第二十一号 昭和四十八年度福生市一般会計補正予算(第六号)を議題といたします。

本案について提案理由の説明を求めます。

(企画財政課長 上野 重勝君 登壇)

○企画財政課長(上野 重勝君) ご指名をいただきまして、この下、議案第二十一号につきまして提案理由ならびにその内容についてご説明を申し上げます。

本案は、昭和四十八年度福生市一般会計補正予算第六号でございまして、この予算の骨子となりますものは歳出にあきまいて、年末手当の追加分の補正、人件費が一千万二千円、それから防衛補助によります三中の併行工事分といへば、まして一千四

百六十八万五千円、それから東口の認可前の委託料といひまゝ
て、新都市建設公社委託料として支払いますもの九十五万円
その他予備費二千七百三十八万円等を含めまして三千七百三十分五
千円へのぼる補正でございまして、これの歳入といたしましては防衛
の補助金として一千四百六十八万五千円、さういふ市債として、い
わゆる起債ですが、これが三千二百七十万追加になるはずでございま
す。

なお地方債の補正の条件といたしまして、起債の中の借り入れ
金額の変更及び利率の変更が計上してございます。

それでは、その目別に説明申し上げます。条例項目では四千
七百三十八万五千円を追加いたしまして、予算の総額を四十億
二千六百三十九万八千四百円と定めようとするものでございます。

ニページにまいりまして、その内容についてご説明を申し上げます。
まず歳入でございまするが、国庫支出金におきまして四千
四百六十八万五千円の増額補正でございまするが、これは先ほど
も申し上げましたように防衛施設庁の仮称福生三中の防音

福生市議会

併行工事分の国庫補助分でございます。この金額の同額が歳
入に計上されいっております。市債におきまして三千二百七十
万円の追加補正でございます。これは七小分といひまして一
千五百八十万円、それから三中分といひまして一千六百八十万円、
それから一丁の体育館として十万円がそれぞれ増額認可にな
りまして、この分を計上した次第でございます。合せま
して歳入の合計が四千七百三十九万五千円という次第でございま
す。それから歳入にまいりまして、歳入の大部分は人件費でござい
まして、この人件費につきましては十月の期末勤勉手当にお
きまして三、四カ月プラス一律四万円という額で支給してございま
すが、予算計上額といたしましては三、二プラス三万五千円が計
上してございまして、二カ月分とさういふ一律五万円分が不足を
計上してありますので、これを補正しようとするものでありまして
十一月の支給の際にあきましては、三月支給の期末手当を充当し
て支給をしておいた次第でございます。議会費における人件費
が二千七十七万円でございます。それから総務費におきましては五

百八十九万五千円が人件費でございます。その内容は総務管理費四百二十八万九千円、徴税費百三十四万四千円、戸籍住民基本台帳費三十四万九千円、選挙費六万四千円、統計調査費三万一千円、監査費において四万一千円でございます。民生費におきましても全額人件費でございます。総額百一十二万八千円でございます。それかれ社会福祉費、児童福祉費、生活保護費となっております。衛生費におきましては九十七万五千円の増額でございます。労働費におきましては四万六千円の追加でございますが、これは失業対策費でございます。農林水産業費におきましては十万円の増額でございますが、これは農業費における増額でございます。商工費におきましては七万三千円の増額でございます。なお土木費におきましては総額で二百三十二万五千円の追加補正でございますが、このうち、道路河川橋梁費の七十一万は人件費でございますが、都市計画費におきましては、百五十二万五千円の補正のうち九十五万が東口開発の委託料でございます。

残りが人件費でございます。教育費におきましては一千四百九十七万八千円の増額でございます。その内訳は教育総務費におきましてこれは人件費が調定の結果百三十二万四千円の減額と相なる次第でございます。小学校費におきましては六万円の増額補正でございます。それから中学校費におきましては一千五百三十二万三千円の増額でございますが、先ほどもご説明申し上げましたように、このうち三万の防音併行工事分が千四百六十八万五千円、人件費が六十三万八千円でございます。学校給食費におきましては五十八万四千円、それから社会教育費十三万四千円、保健体育費十万五千円、それから人件費でございます。なお予備費におきましては二百七十三万八千円を計上いたし次第でございます。合せて四千七百三十八万五千円が今回の補正の額でございます。次に五ページにまいりまして地方債の補正についてご説明申し上げます。

左側の半が補正前の内容、それから右側の半が補正後の内容でございますが、その補正の内容についてご説明を申し上げます。